

## 2021 年度決算報告

自 2021 年 7 月 1 日～至 2022 年 6 月 30 日

皆さまからのご寄附、本当にありがとうございます。

収入	前年度繰越金	555,664 円
	カンパ・寄付金 ※1	667,170 円
	利息 ※2	4 円
	計	1,222,838 円
支出	通信運送費	317,379 円
	用紙・封筒・印刷費	185,708 円
	郵便振替 関連費	34,086 円
	会場使用料	33,960 円
	年間レンタルサーバー代 ※3	1,571 円
	事務用品費	0 円
	次年度繰越金	650,134 円
	計	1,222,838 円

※1 未使用切手を含む  
 ※2 ゆうちょ銀行  
 ※3 さくらインターネット



## 社長は腹をくくって、再生可能エネルギーに 舵をきり、お金と技術を集中させよ 四国電力第98回定時株主総会報告

2022 年 9 月 22 日

株主そしてサポーターの皆さまへ

四国電力の第 98 回定時株主総会は、6 月 28 日（火）午前 10 時からコロナ禍のなか、高松市の四国電力本店で開かれました。出席者は 122 名。昨年（100 名）より少し増えました。

私たちの株主提案は 4 件（3 頁を参照）。提案株主は 121 名。議決権数は 1,225 個（12 万 2500 株）。加えて 13 問の事前質問書（回答を含む要旨は 5～7 頁参照。全文は本会 HP 参照）を提出しました。

株主総会では、昨年同様コロナ禍の効率的な議事進行として、事業報告、そして会社、株主提案の説明後、まとめて質疑応答の時間が設けられました。

最初の質問は、6 月 17 日の最高裁の判断（福島事故は国に責任はなく東電の責任）についてのもので複数の株主が「どう考えるのか?」、「現在の四電の避難計画でよいのか?」等、経営陣の姿勢を鋭く問いました。しかしどの経営者もまともに応えず、「安全第一の強い思いで原発稼働」という精神論的な回答を繰り返すのみ。まるで他人事のようにです。

そのような受け答えばかりが続いたため、他の株主から、「先日の最高裁の判断で事故の責任は、企業が全て負うということが明確になった。つまり、伊方で事故が起これば、全て四国電力が責任を負うということなのだ。それなのに、当事者としての覚悟も切迫感も全く感じられない。本当にその事を理解して回答しているのか、稼働するのであれば、もっと責任感と覚悟をもって誠実に回答すべきではないのか」と厳しく叱責され、経営陣が、言葉を失う場面が見られました。

### ご寄付のお礼とお願い

皆様にはご支援、応援をしていただき心より御礼申し上げます。当会は、賛同者・支援者の皆様からのカンパのみによって活動しており、毎回のお願いで恐縮ではございますが、ご寄付いただければ幸いに存じます。またメッセージ欄へのご記入も大歓迎です。

郵便振替口座からのご寄付は、当会の送金手数料負担としました。2022 年 1 月 17 日からは現金で払込の場合別途 110 円が必要となりますのでご留意願います。

ゆうちょ銀行・他行からのご送金については、封筒表面下部をご覧ください。

郵便振替口座 01660 - 0 - 51040

加入者名 未来を考える脱原発四電株主会  
 ミライヨカンガエルダツゲンバツヨンドンカブヌシカイ

### 未来を考える脱原発四電株主会

事務局 〒771 - 0117

徳島県徳島市川内町鶴島 120-1

電話 090-9455-2963 (本田)

ファクス 088-665-6654

Eメール miraiyonden@yahoo.co.jp

ホームページ http://miraiyonden.sakura.ne.jp/

共同代表

本田耕一 (徳島)

丸井美恵子 (高知)

内田知子 (愛媛)

佐藤公彦 (香川)

ウクライナの戦争等に関連した原発の安全対策については、「原子力規制委員会も有事の場合を想定していないが、有事がないとは言えないので原発は止めて欲しい」という意見や、頻発する地震に関して、「地震は必ず起こるもの、人間は自然には勝てない、瀬戸内海は内海であり、一度事故が起これば取り返しがつかなくなる。すぐに止めるように」などの意見が出ました。

経営に関しては、取締役の選任基準や報酬、株価など、幅広い質問や意見が出ました。

株主からの、「経営状況が悪くなっているにもかかわらず、取締役の報酬が昨年度に比べても減っていない、報酬を決める委員会のメンバーは四電関係者ばかりで、これはお手盛りではないのか、報酬の決定に関して、本当に客観性と独立性が保たれているのか」という質問には、まともに答えられず、別の株主からの、「株価が下がり続けている理由について、なにが問題だと考えるか」と問われる場面では、業界として低迷している（ので会社としては問題ない？）とお茶を濁したような回答でした。

また、原発を容認する株主からも、「取締役は内部の人間ばかりで多様性がない、訴訟リスクを認識しているなら、法曹界からも取締役を入れる等、もっと取締役の改善をするべきではないのか」という意見が出されるなど、総じて、厳しい要求が続きました。

その他、来年から施行される株主総会資料の電子提供制度や、昨年9月に発覚した待機職員の無断外出の処罰など、広く質問や意見が出されました。

最後に、ある株主は原発から再生可能エネルギーへの移行を強く求めました。「亡くなった母親が『四国電力はいい会社だから』と株を残してくれた。原発はお金がかかるし、使用済み燃料の最終処理も決まっていない。技術的にもコストの面でも、再生可能エネルギーを主力電源として位置づけられる時代になってきた。あとは、社長が腹をくくって、再生可能エネルギーに舵をきり、お金と技術を集中するのみである。私の母親の期待と思いを受けとめていただき、日本をリードする四国電力になって欲しい」との声に、会場から大きな拍手が沸き起こり、株主総会は昨年より19分長い、2時間27分で終了しました。

午後からの報告会では、取締役たちの不誠実な態度や、議長が「それは脱原発の立場での発言ですね」と、発言者をラベリングしたことへの抗議が語られました。また、現在の伊方発電所の再稼働は、中村時広知事が当時の安倍晋三首相から、国が何かあったら責任を取るという、言質をとったことで踏み切った経緯があります。愛媛県で活動する、「さよなら原発ネットワーク」が知事に対し改めて、最高裁判決を踏まえた上での再稼働の是非について質問状を出すということを確認しました。

当日は非常に暑かったものの、たくさんの仲間が応援にかけつけ、熱中症に気をつけながら、にぎやかに活動をすることができました。

私たちは毎年、皆さまとともに株主提案を行って参りましたが、年を追う毎に脱原発への流れは確実に進んでいることを確信しています。これからも、愚直に地道に脱原発を主張し続けていきます。

質問 10 伊方発電所に及ぼす地震動と敷地の安定性について

①伊方発電所の基準地震動は650ガルで、海拔3mの地点でのものですか。②将来も3mの地点では650ガルを超える地震はないとの理解ですか。③海拔3mでは650ガル、30m～40mでは6200ガルとの算定の差異と敷地護岸沈下とは、伊方発電所地盤の軟弱性を示すものではないのですか。見解をお答え下さい。

回答 10

原子炉建屋は埋立地ではなく岩盤上に設置。6200ガルは建物の上層で揺れが増幅するから。

質問 11 伊方原発3号機の再起動と営業運転再開について

重大事故並びに保安規定違反後の再起動に愛媛県知事と伊方町長の下承を得たそうですが、株主等、利害関係者への謝罪、説明はありません。以下の質問にお答え下さい。①保安規定違反の詳細。②保安規定違反による損害総額。③違反者とその上司の処分内容。④違反者と上司への損害賠償請求額と当社が賠償請求を受けた額。⑤知事と町長とから下承を得た当社の「対応策」の中身。

回答 11

違反者は横領ガソリン代を戻し入れ。上司とも適切に処分。損害賠償請求はしていない。

質問 12 役員報酬の個別開示について

昨年度(2021年)は8年ぶりの赤字決算に陥りました。その原因を問う株主総会で役員報酬の個別開示が無い限り役員個々人の責任と評価は不可能です。なぜ、役員報酬の個別開示をしないのですか。その理由と今後の方針をお答え下さい。

回答 12

役員個人のプライバシー問題。個人別の金額は記載しない。

質問 13 株主総会のインターネット中継について

コロナ禍に便乗して株主総会を短縮化する要請が2年続きました。株主総会参加の権利の著しい侵害です。九州電力は昨年(2021年)、「参加型」でのハイブリッド型バーチャル株主総会を実施しました。当社は今年(2022年)、もしくは来年以降、インターネットでの参加型の株主総会を開催する予定はありますか。方針をお答え下さい。

回答 13

他企業の実施例を踏まえ、実施の可否を慎重に検討する。

本会のホームページ掲載の「質問」と「回答」の全文を読んでいただければお分かりのように、私たちは当たり前の疑問を呈しています。当社には、開き直りやはぐらかしをせずに、具体的に誠意ある回答を望んでいます。今後も公開質問書で当社の姿勢を問い続けていきたいと思っています。

プルトニウムの量は?③新たにフランスで製造する MOX 燃料の価格は?④当社の使用済燃料は 890 トンといわれています。ウラン燃料、MOX 燃料別、貯蔵場所別にお答え下さい。

回答 4、5

使用済燃料は伊方に 1687 体 (内 MOX 燃料 16 体)、六ヶ所再処理工場に 434 体。約 890 トン。

質問 6 MOX 燃料について (3)

「再処理見通しなく」(上記愛媛新聞)とされていますが、①当社は今でも「原子燃料サイクルは必要」と考えているのですか。②MOX 燃料を使用しなければならない法的義務はあるのですか。③当社は六ヶ所村の再処理工場の 2022 年度上期竣工を「全面的にサポート」と言っていますが、どのようなサポートをしたのですか。

回答 6

原子力サイクルは必要。他の電力会社と協力し、全面的にサポートしていく所存です。

質問 7 伊方発電所の廃炉について

①伊方 1、2 号機の廃炉作業の進捗状況と現在までの費用をお答え下さい。②40 年以上も要する廃炉作業の人材の育成・確保、必要な技術の研究・継承等の具体的計画をお答え下さい。③長期にわたる廃炉作業の「経済効果」、「雇用創出」面を積極的に広報する計画はありますか。

回答 7

廃止措置に要した費用は現在まで約 25 億円。廃止措置専属部署、同研究検討会を立ち上げ。

質問 8 業務上休業災害発生件数について

当社の毎年の『統合報告書』によれば、四電社員と請負・委託社員の災害発生件数は後者の方が毎年 4～5 倍ほど多く、2018 年度には死者まで出ています。しかし報告書は過去 10 年間、「グループ一体となった安全意識の高揚を図っています」しか記されていません。同じ文言しか記さないのは、請負・委託社員は「この程度の災害は仕方がない」と考えているのでしょうか。率直なお気持ちを教えて下さい。

回答 8

深刻に受け止め、四電グループ安全推進委員会等を設置し、安全意識の高揚を図っている。

質問 9 株式取扱規程の公表について

私たちが行使している少数株主提案議案提出時に必要とされる株主資格確認方法は煩雑です。当社と協力して事務手続の効率化を図りたいのですが、既に公表している会社もある株式取扱規程を公表する考えはありますか。

回答 9

株主さまの利便性向上に資する観点から当社ホームページに掲載いたしました。

## 私たちの株主提案

第 6 号議案 取締役解任の件

議案内容

当社の能力不足と怠慢により、伊方 3 号機の稼働を約 2 年間停止させ、700 億円もの損失を生み出した佐伯 勇人会長、長井啓介社長、山田研二原子力本部長の経営監督責任を問い、上記 3 名の取締役の即時解任を決議する。

第 7 号議案 定款一部変更の件 (1)

議案内容

定款第 1 章・総則 (目的) 第 2 条と第 3 条の間に、第 2 条の 2 を追加する。

第 2 条の 2 本社は、福島原発事故の大惨事を教訓にして、南海トラフ巨大地震による伊方発電所における放射性物質放出事故に備え、地域住民のだれ 1 人取り残さない避難および防護、補償計画を作成する。

第 8 号議案 定款一部変更の件 (2)

議案内容

定款に以下の章を新設し、以下の条文を追加する。

第 7 章 伊方発電所の廃炉

第 40 条 本社は、伊方原子力発電所 3 号機を廃炉にして、再生可能エネルギーを基幹電源にする。

第 9 号議案 定款一部変更の件 (3)

議案内容

第 7 章に以下の条文を追加する。

第 41 条 伊方原子力発電所 1 号機及び 2 号機の廃炉を 2060 年度までに完了する。

## 株主提案への賛成率 集計結果は EDINET より

<株主提案 (第 6 号議案から第 9 号議案まで) >

決議事項	賛成	反対	棄権	反対率	決議結果
第 6 号議案					
佐伯 勇人	65,293 個	1,402,625 個	25 個	95.4%	否決
長井 啓介	45,035 個	1,422,884 個	25 個	96.8%	否決
山田 研二	45,037 個	1,422,882 個	25 個	96.8%	否決
第 7 号議案	40,540 個	1,425,914 個	1,499 個	97.0%	否決
第 8 号議案	41,032 個	1,425,461 個	1,460 個	97.0%	否決
第 9 号議案	41,145 個	1,425,346 個	1,460 個	97.0%	否決

(注) 各議案の可決要件は、次のとおりです。

- ・第 6 号議案は、議決権を行使することができる株主の有する議決権の過半数の出席と、出席した株主の議決権の過半数の賛成です。
- ・第 7 号議案、第 8 号議案および第 9 号議案は、議決権を行使することができる株主の有する議決権の 3 分の 1 以上の出席と、出席した株主の議決権の 3 分の 2 以上の賛成です。

(4) 株主総会に出席した株主の議決権の数の一部を加算しなかった理由

本総会前日までの事前行使分および当日出席の一部の株主から各議案の賛否に関して確認できたものを合計したことにより可決要件を満たし、会社法上適法に決議が成立した (株主提案については会社法上否決されることが明らかになった) ため、本総会当日出席の株主のうち、賛成、反対および棄権の確認ができていない議決権数は加算していません。

## 第98回定時株主総会事前質問

### 質問要旨と四電回答要旨

全文はHPの<公開質問全文>と<事前質問回答>で確認いただけます  
<http://miraiyonden.sakura.ne.jp>

#### 質問1 原発への武力攻撃の対応について

ウクライナ危機により、日本の原発施設の安全対策への関心が高まっていますが、政府の原子力規制委員会は無責任にも、「武力攻撃への対応は対象外」（四国新聞、2022年3月12日）と言い、事実上「お手上げ状態」です。当社の考えをお答え下さい。

#### 回答1

国が対処されると認識している。セキュリティに関わるため回答を差し控える。

#### 質問2 カーボンニュートラルの取り組みについて

①発電時に二酸化炭素を排出しない、というだけで原発が脱炭素化に貢献していると言えるのか。②阿南火力発電所の廃炉作業と40年もかかる伊方1、2号機の廃炉作業とどちらが二酸化炭素の排出量が多いか。③伊方1、2号機の廃炉費用は各約400億円、阿南1、2号機の廃炉費用額は？

#### 回答2

現時点で具体的にお示しできないが、原子力の活用によるCO2削減効果は大きいと考える。

#### 質問3 どのようにして原子力発電の20~22%を確保するのか

国のエネルギー政策の「原発20~22%を確保」を根拠に当社は伊方3号機の稼働を強行しています。とはいえ、この11年間、一度も20%を超えていません。国のいう2030年度、さらに2050年に向けて当社は「20~22%」をどのように確保するのですか。

#### 回答3

本年度において約22%、2030年度においてもこの水準は達成できると考えております。

#### 質問4 MOX燃料について(1)

①伊方3号機のMOX燃料はなぜ、16体から5体になったのですか。②MOX燃料の価格を公表して下さい。③新たにMOX燃料を輸入する計画はありますか。④現在、未使用のMOX燃料は何体、どこに保存しているのですか。

#### 質問5 MOX燃料について(2)

「四電MOX燃料新たに製造 プルトニウム他電力と融通」（愛媛新聞、2022年2月19日）という記事がありますが、以下、お答え下さい。①どこの電力会社と交換するのか。②交換する